

門へ遠 13
番 2209
巻 13

繪本豊臣勲功記二編三之巻

目錄

信長投墨股城賞諸將

屬伏新治城

本下智舌動竹中重治心

屬再遣大澤

織田殿厚賞應行中大澤

馬本小松氏

秀吉呼迎中村母公親族



繪本豊臣勲功記二編卷之二

江戸 八功舎 徳水剛補

信長投函股城獲賞諸將属仕替返城

復道の空小横さるる未雲成さる小川の龍を長橋は波小川さるる... 小別股城の結構は就あらむん新をを空小横さる長城の漫々とて... 一夜小現せん虹あらむんが龍子の隙小溜りとて成べんと濃列武者... の見輩同輩肝を落し魂を消し人間不依あつともあらじと怖懼のこみ... して今ハ勿々攻る我も折らうとせん目々夜々空より評議を過けり... 然バ木下秀吉ハ日量七日小結構成就をりつとも寨樓土塙あんの白く能... かくと目んこころハ一時の頓智を用いらる目ハ歎を欺んこめ壁あつる欠小の都



秀吉の木識智
 半前め
 洲股城を
 築得て
 美濃武者を
 敵馬殺せ



て板と張る紙のりく色くさくさの宛漆會ひて塗固め。又使問の潤るるふ
 見えて嚴なる律のつらさ。備清別所の織田信長遠道本下軍
 功と賞券。其要津と見物せよと五千余騎めて出馬し以別段城の
 趣きおふ本下軍と所よりも人數と出と略次の程二里をりて籠るる
 さしめ自身城門外に布草をりて迎ふ。信長略と津路に
 あり馬と標平と跳卸を以本下軍と捉へ子に智保首目ならぬ事ありと
 今般の功も重く賞券莫大と謂つ。一月をきし賞券も重くも程ほど。予今日
 懐懐當國の馬と出とこと金く汝が勤めんと死も嬉しげに賞券も重くも程ほど。予今日
 ひま備と。おのむ体あり津路に小長が微忠の終小善請の不作の。またとも
 君が所威光をん。おのむ士お精々粉骨碎身つらまらんや。軍士備の
 中。小就。津路。後日。比野。青山。加治田。松本。あどりの。出と。予。又。不。當。の

英雄にて遠道の戦忠大。小假加之。今川。攻の。江。加。勢。と申。多。自。軍。の
 脱。氣。と。禱。し。より。昨。年。當。國。の。出。馬。も。亦。未。休。奇。兵。の。方。便。も。有。り。
 自。軍。の。危。難。を。救。ひ。し。て。若。く。は。中。勤。既。小。之。道。然。れ。と。も。亦。并。べ。北。軍。を
 ら。む。恰。新。若。一。口。出。さ。し。て。津。賞。券。を。さ。し。か。う。と。も。亦。此。上。も。亦。以。其。加。極。と
 願。ふ。織。田。の。関。白。も。彼。公。輩。の。禱。より。忠。節。の。者。と。亦。及。つ。り。御。遠。道
 の。難。面。を。さ。し。か。り。て。津。路。と。宣。ひ。つ。別。段。城。小。入。り。を。以。信。長。大。意。小。宣。ふ
 ま。し。備。も。防。禦。法。無。備。嚴。重。と。感。賞。し。以。安。度。ま。る。を。機。會。小。本。秀
 吉。高。次。で。津。路。有。堂。の。大。將。分。と。以。次。小。新。若。へ。推。舉。を。以。信。長。大。意。小。宣。ふ
 中。小。新。若。北。軍。取。束。し。て。孫。吉。高。次。の。力。と。て。奮。出。忠。の。精。力。を。竭。せ。し。快。く。所。知
 ところあり。然中遠道の當城修理の細うら。數度の勤功を以てあらむ。夜殿は
 捲け。泥。と。小。橋。の。具。を。用。て。後。藏。敷。を。臨。控。し。衆。を。双。の。忠。義。と。謂。つ。予。今。よ。り

本下が令小属。當城を堅固小守を催して。昇事の賞として黄金若干
 賜ふ。其に蜂谷堂は勇力と建具が小刻に評賞をせし感涙を流して還
 出を。次小秀吉を近づくにこれより数段の勲功ありとも。しる賞を行かざ
 不望あり。命を乞ふ。と命を秀吉に請ひ。居る者の忠を竭し。功を勵むに
 尋常あり。此の功あり。そを系小思賞を望む。此を身小余る評意を
 蒙り。己小大福を領する。この道遣り又一城を假共せし。是を不徳思ふ
 存難。然し。かぎり願ひ奉る。一義あり。黄金小賜らんや。と。意を信長聞
 けり。斯の容易きこと。かんぬと願ひの如く賜ふ。藤吉守大小喜ひ。思
 て。言出。し。る。中。の。道。遣。集。め。一。千。余。人。勲。功。の。然。こ。と。か。が。ら。る。を。答。ふ。と。曰。む
 べし。と。止。ま。ん。と。あ。る。と。故。と。言。出。せ。ん。小。後。縁。に。敵。地。の。勲。靜。を。伺。せ。ん。と。め
 准。示。候。と。以。て。伏。見。小。田。者。官。安。あり。ま。は。次。小。遊。を。し。め。ん。周。り。懸。賞。の。賞。金。を。賜。へ。致。

近さんと存するあり。然とも渠候と又。幕後使へ。時節もあま。斯の料理
 俵あり。蜂谷有堂一千二百余人と。尚先余の盡く。腫とた。多。く。を。取。り。へ
 帰さ。り。り。然。此。輩。時。節。小。お。機。會。小。觸。是。國。の。勲。靜。を。伺。せ。し。と。本。下
 居。ら。東。國。西。國。小。方。畿。内。小。至。る。ま。で。を。治。乱。真。際。と。知。得。り。儲。又。織。田。殿
 別。腹。の。多。糧。運。贈。の。事。を。命。出。さ。り。り。に。藤。吉。守。言。伏。せ。ら。く。他。國。小。軍。馬。を
 出。せ。と。さ。ん。の。軍。國。小。と。多。糧。を。取。る。べ。し。尾。列。より。運。贈。の。之。益。の。得。小。催。し。り。候
 然。と。も。當。城。の。多。糧。の。當。國。小。これ。あり。此。儀。の。濟。心。寧。ら。る。べ。し。只。心。願。小。候。と。評
 の。破。孫。家。の。旗。下。小。竹。中。半。多。重。治。と。い。ふ。者。あり。此。を。山。林。小。田。者。に。せ。し
 道。と。小。切。こ。も。も。渠。が。心。中。い。ま。は。決。せ。と。若。破。孫。家。の。心。を。よ。く。渠。が。心。中
 必。出。て。補。佐。せん。然。と。も。講。を。し。大。事。小。い。ふ。小。も。や。て。竹。中。を。評。將。伏。せ。し
 秘。死。も。め。ら。せ。猶。其。上。り。て。西。兵。港。の。こ。人。衆。と。も。階。級。を。せ。ん。然。と。も。响。の。破。孫。家

討瀧をこと最易う。河合戦の義へ今誓く。河見もあはさき。小長
が進進と河待あまきと。山意細々と。言壯し。信長大感下。小長
が勅小信せ。清洲へ帰城し。小長新く。木下孫官守。一十七百余人
株せ堅固。小守護を。つも近隣の諸士を。帰伏せ。種く。工支。く。高
國各勢郡。鶴沼の城。大澤。次。弟。大。弟。時。木。下。隊。中。大。澤。に
水重綱の兄。小。一。て。弟。孫。官。守。の。長。下。あり。し。が。龍。真。を。道。の。君。と。小。周。人。と。集
軍。事。小。從。ら。る。と。同。者。小。令。下。く。所。穿。さ。せ。然。と。水。と。出。し。是。下。の。舎。兄
次。弟。大。弟。今。龍。真。の。を。禮。せ。懼。え。ひ。れ。執。る。と。止。せ。亦。及。り。然。と。も。龍。真。怒
と。衆。一。鶴。沼。と。攻。ん。も。計。く。し。是。下。早。く。鶴。沼。不。行。き。舎。兄。と。勅。め。織。田。家。小。將
と。と。理。と。過。く。教。介。ら。ま。び。ら。水。も。事。よ。う。を。意。あ。ま。思。儀。あ。く。と。停。務。沼。河。河
の。重。時。小。對。面。して。稍。味。懐。の。情。と。漢。次。小。木。下。が。智。仁。と。論。し。信。長。の。大。雨。と。後

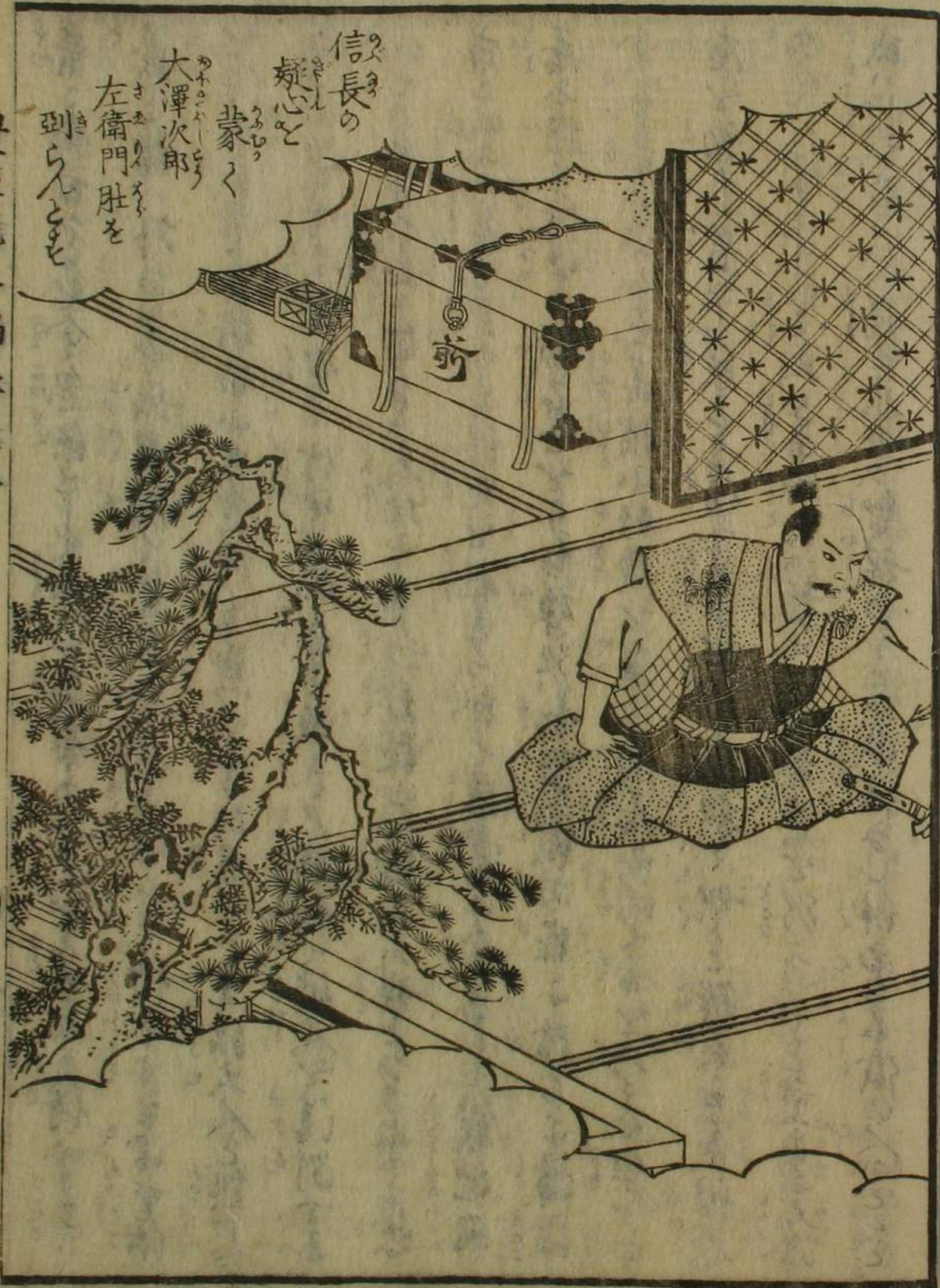
とて降糸の事と勅めり。是を裁遣り通音く。此事小頼り。は。次。弟。大。弟
速小諾受。一。弟。水。小。道。ま。て。河。段。城。不。来。り。ま。秀。吉。大。小。款。洗。み。
然。其。同。道。して。清。洲。小。河。段。田。殿。小。目。人。矣。和。さ。を。り。と。と。と。河。段。大。弟
出。途。へ。寄。座。小。信。と。禮。せ。厚。ふ。ま。づ。重。と。ま。お。ら。せ。町。守。小。登。意。一。姑。く
至。家。と。禮。せ。后。略。く。清。洲。へ。伴。え。ん。と。淺。野。彌。重。長。政。と。河。段。の。田。守。と。み。し
大。澤。と。う。も。連。く。速。小。清。洲。小。河。段。大。澤。次。弟。大。弟。降。糸。方。事。と。言。壯。と。織
田。殿。と。れ。と。不。真。の。體。め。く。と。大。澤。次。弟。大。弟。と。い。ひ。る。者。の。過。つ。と。ら。さ。る。と
水。と。つ。ら。え。し。て。予。と。謀。し。曲。者。あ。ら。せ。俄。の。降。糸。心。元。か。し。勢。計。あ。ら。ん。と
宣。ひ。ら。ま。い。木。下。安。永。相。違。し。て。要。時。言。せ。も。出。さ。り。し。が。勢。く。ま。ら。し。と。推。し
り。ふ。と。言。僅。大。澤。が。降。糸。の。と。濃。武。士。若。は。家。風。と。追。て。隨。逐。り。と。發。堀。も。ま。ら
隨。て。河。段。殿。ま。ま。と。つ。れ。と。取。や。う。の。河。段。近。來。め。り。と。傳。多。く。推。定。も。極。く。詳

謁許きつをせむ。しるくしるく。録りくのふさふさ。止事やじを得えて對面たいめんしむ。ひらひら。居い。本ほん。小宣せうせん。ひらひら。大澤たいさく。こと。別べつ。小思せうし。材さい。のま。ある。也。入いり。迷ま。小切腹せうせつぷく。をせむ。とある。お。う。藤ふじ。吉きち。舟ふね。大だい。小せう。悟ご。き。辞じ。を。止と。一いつ。理り。七しち。獨どく。と。重おも。一いつ。音おと。め。ま。の。ら。を。と。更さら。小せう。作さく。一いつ。の。方かた。言ことば。殆たいてい。迷ま。惑ごつ。心こころ。や。一いつ。と。ま。の。別べつ。役やく。小せう。三さん。帰かへり。り。尤なほ。も。右みぎ。や。も。獲とら。ふ。と。て。大澤たいさく。と。共とも。小せう。清せい。淵えん。と。出い。別べつ。役やく。と。所ところ。ら。ま。ら。る。

本ほん。下げ。智ち。舌じつ。動どう。行かう。中ちゆう。重じゆう。治ち。心しん。厲り。再さい。遣せん。大澤たいさく

龍りゆう。門もん。周しゆう。愁しゆう。と。説せつ。て。孟もう。嘗じやう。君きん。と。注ちゆう。し。ゆ。福ふく。衡かう。世せい。と。辨べん。し。て。曹そう。操そう。と。怒いか。ら。む。兵へい。者しや。事じ。理り。と。説せつ。て。と。ま。ら。英えい。雄ゆう。の。如ごと。く。心こころ。と。動どう。を。況いは。や。大だい。智ち。の。豊ゆう。君きん。が。他た。と。説せつ。破ぱ。を。小せう。於お。て。と。也なり。然しか。ど。に。本ほん。下げ。の。大澤たいさく。重じゆう。時じ。と。付つ。歸かへり。り。別べつ。役やく。の。城じやう。小せう。入いり。り。宛あて。も。面めん。を。け。あ。る。氣き。色しき。あ。て。刀たう。と。大澤たいさく。が。前まへ。小せう。置ち。ま。葉えつ。屑せつ。あ。ら。ま。ま。と。も。忠ちゆう。信しん。と。り。て。君きん。の。こ。も。小せう。下げ。と。初はつ。め。將じやう。佐さ。小せう。招しやう。れ。あ。ら。ま。せ。一いつ。律りつ。織し。田でん。敷し。と。し。喜き。悅えつ。あ。ら。ん。と。思おも。ひ。の。外がい。あ。る。

不ふ。真しん。と。事じ。あ。り。却かへり。て。足あし。下げ。と。深ふか。く。疑ぎ。ひ。切腹せつぷく。を。ま。と。う。漸ぜん。後ご。乃なり。更さら。當たう。て。其その。意い。と。知ち。ら。と。然しか。ど。も。罪つみ。あ。れ。足あし。下げ。と。い。何なに。と。と。切腹せつぷく。を。ま。づ。けん。や。君きん。小せう。背せい。け。の。忠ちゆう。と。失あ。ひ。足あし。下げ。と。害がい。を。ま。ま。信しん。小せう。背せい。け。し。只ただ。此こゝ。う。の。右みぎ。左ひだり。小せう。及およ。ぶ。と。ま。ま。其その。首くび。を。毆う。て。迷ま。小せう。退たい。ま。と。洞どう。と。共とも。小せう。禮らい。祭さい。け。ま。大澤たいさく。重じゆう。時じ。稍しやう。名な。を。し。斬あ。り。初はつ。も。か。り。一いつ。が。條じょう。と。息いき。一いつ。次じ。後ご。出い。り。小せう。子し。本ほん。下げ。の。智ち。仁にん。を。慕あこが。れ。ひ。且かつ。織し。田でん。敷し。武ぶ。威い。小せう。靡み。ま。本ほん。心しん。ど。り。降くだ。来き。せ。と。君きん。の。沖おほ。疑ぎ。心しん。を。奉たてまつ。り。謀まう。せ。ら。る。も。迷ま。小せう。の。不ふ。祥しやう。也なり。と。恨うら。み。ん。も。あ。し。然しか。ど。も。又また。智ち。勇ゆう。信しん。義ぎ。の。足あし。下げ。と。擊う。つ。て。退たい。つ。れ。身み。あ。ら。ま。と。一いつ。端たん。將じやう。佐さ。小せう。氣き。あ。り。し。の。の。が。沖おほ。疑ぎ。と。う。け。腹はら。切き。律りつ。の。拂はら。し。と。小せう。逃たい。躲たう。も。一いつ。と。活くわ。名な。と。い。せ。小せう。苗めう。め。ん。と。朽く。憾が。も。と。此こゝ。意い。趣しゆ。と。れ。小せう。清せい。披ひ。露ろ。と。彰あ。し。と。象しやう。あ。ら。ま。と。と。象しやう。も。ま。ら。ま。と。律りつ。の。正せい。帯たい。と。推おし。さ。げ。て。腹はら。ま。ら。ん。と。既すで。小せう。あ。ら。ま。れ。所ところ。作さく。と。本ほん。下げ。劇げき。推おし。停てい。め。厥さう。量りやう。種しゆ。と。武ぶ。士し。小せう。謀まう。死し。と。ま。る。殘ざん。念ねん。と。い。是こゝ。と。是こゝ。



信長の
 疑心と
 蒙く
 大澤次郎
 左衛門 肚を
 到らんとす

棄る秀吉を今忽然と二人の之事の工を遠く得たり。其
 義と謂わ外あり。我君頼朝栗原山小田原を以て竹中重治
 と深く慕えし將佐おせん。之を以て幸ひ是中の重治大人と
 向せさせむ。此上もなき大功。我君疑心と解ふ。媒とありぬ。然
 ある响の糸も是中も誤死と脱る。却て恩賞の幸あらん。饒他
 居小田原。行中が鐵石心とち碎れ。切れぬ鐵田家小階ら
 小宮易らぶらむ。某情小形摸と窺ふ。田原小田原と巧を
 庭と初し置。然る後。是中と行。ぬ。解ふ。彼人
 多くは仕立。翌日。其山へ越。遠。其。と。大
 或は悦びあひ。悟へ。木下。智謀のや。小感仕。伸愛不。做の人。こと。

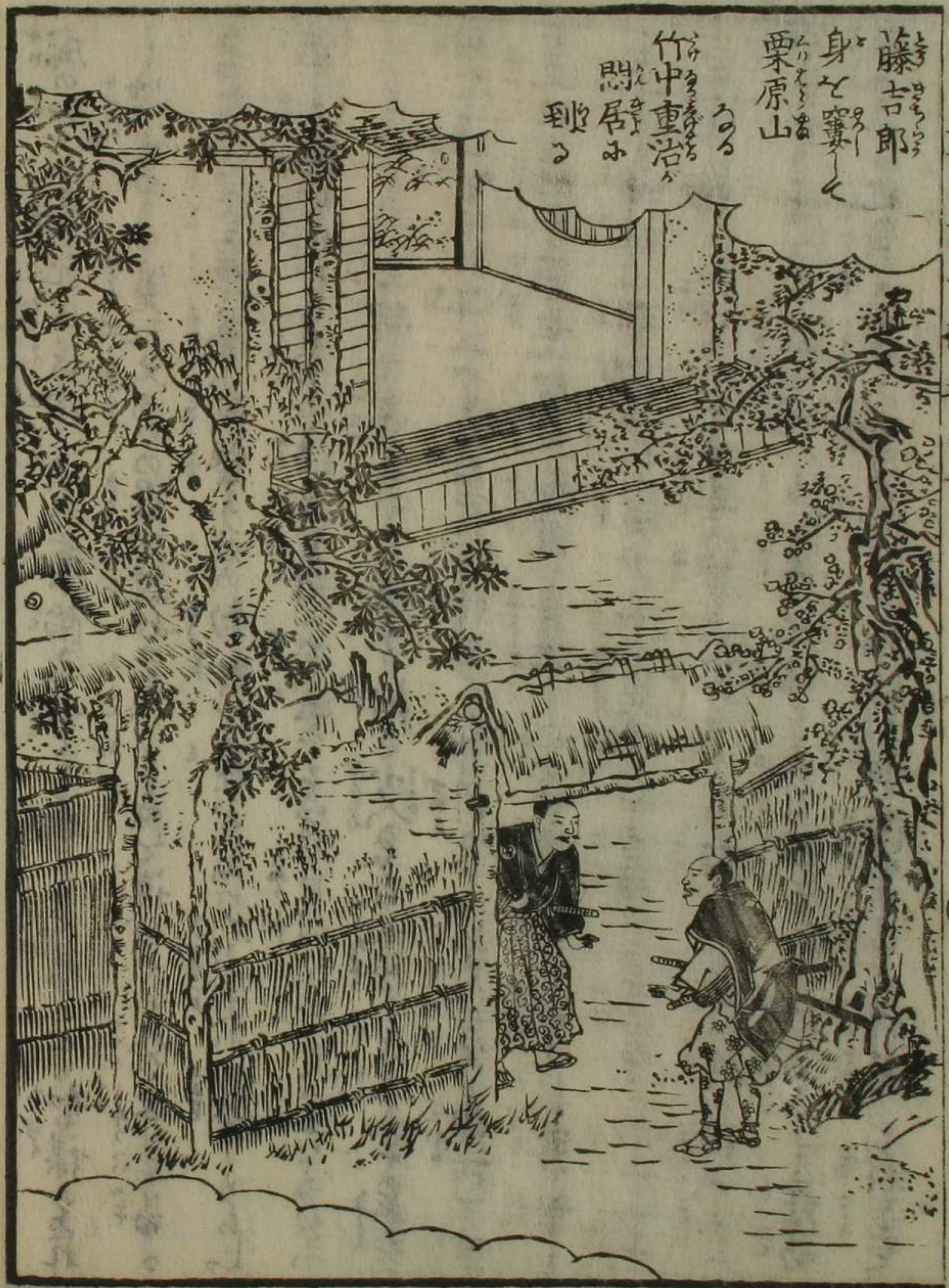
思へて従ひける。信く。本藤吉。舟の。形。栗原山。不。其
 里金との源。行中。重治。田原。小。傳。言。重。と。較。ひ。之。夜。の。宿。と
 當。ぬ。り。小。時。刻。と。討。し。し。中。と。日。も。山。の。峯。小。沈。没。し。寒。鷗。林。小。掃。つ
 多。く。之。山。松。間。水。逝。小。舟。が。之。情。さ。ら。ら。同。春。や。も。らん。越。く。と。幽。小。而。く
 童。兒。の。者。と。若。や。宿。願。と。之。清。く。底。か。し。稍。仙。境。小。探。と。あ。や。し。要。時。に
 お。う。ら。に。内。小。い。人。も。あ。ら。し。や。半。夜。を。出。る。あ。や。小。宮。儀。儀。月。法。と。熱
 ところ。瞬。復。曉。て。謂。ふ。中。我。ま。も。懸。り。剝。除。と。憂。甚。と。道。一。田。原。の。身。か
 歎。待。ま。ら。し。と。儲。か。り。と。一。層。と。し。と。高。ら。せ。と。切。あ。る。應。小。あ。り。喜。び
 秋。の。懸。の。裸。せ。小。こ。小。子。も。武。士。は。形。摸。い。や。せ。と。流。水。浮。雲。小。任。せ。も。諸。公。の
 御。の。身。中。あ。る。青。山。中。の。風。露。と。清。く。見。玉。り。望。望。と。境。有。く。と。之。情。と
 謝。し。煙。願。小。進。め。行。中。重。治。童。兒。と。呼。び。茶。を。飲。み。させ。菓。を。和。進。め

一む。秀吉の志を以て略し修む。言結福小謂奈るや。遠西菴の信播ら。實小
 凡あらむ候。予諸國を徑歴し。兵法武術を修練せしむ。只願存す以備へ
 とも運拙し。皇師の値偶も。方僅亭之人を規もあらむ。小文武武備の
 こと小欲く。堪をせむと見向ら。わが修志を憐れと思さむ。予の列小
 ち。多し教導しむら。本懐こも小過らむ。と所々重演先余と。うら英明世の
 塵を厭ひ避て。比山小整頓と。れども。予文武小達せむ。況や師とある。益量
 ありね。予子と。いふの。せ。得ら。律。足下。何。多師。と。撰。文武。を。修。練
 一。西。ふ。か。と。同。ま。て。本。中。然。ひ。文武。の。道。小。達。し。て。后。の。小。仕。へ。ん。當。と。答。ふ。重
 治。田。系。と。謂。ら。る。や。予。問。之。と。い。ふ。ら。撰。不。知。く。學。ぶ。ら。動。て。成。さ。し。何。ぞ。他人。の
 教。余。小。屬。ん。と。所。より。本。中。所。に。縁。邊。若。く。一。禮。を。賢。者。の。言。是。不。令。予
 も。撰。さ。し。只。今。の。世。教。訓。あり。心。魂。小。徹。し。て。覺。悟。开。も。近代。江湖。の。あり。也。

麻の如く小系起。方氏塗炭の苦小臨。始くも安らむ。然も智謀を以て
 一侍士あり。寛仁大勇の君と。技け。不仁。不義。と。謀。伐。せ。ば。天下。界。界。果。易。う
 る。つ。れ。小。生。單。菴。小。岡。整。頓。り。世。の。動。靜。を。窺。む。ぬ。大。丈。丈。小。似。合。ら。ら。じ。
 信。辛。若。世。間。小。も。天下。と。治。め。万。民。と。安。途。を。た。ら。ぬ。良。將。と。求。む。こ。な。ら。ぬ。小
 一。も。あら。む。小。信。經。尤。愚。者。中。と。織。より。純。き。小。人。を。ら。世。務。小。氏。安。く。その。業。を
 勉。め。ん。時。也。りの。ゆ。小。や。あり。ぬ。也。と。侍。士。ら。外。列。心。を。比。東。世。俗。の。譚。話。と。所
 不。尾。列。の。國。守。信。長。の。智。勇。兼。備。の。良。將。小。と。士。と。愛。く。氏。と。懇。む。不。道。に。懸。し
 て。天下。と。補。佐。し。尋。常。多。ら。ぬ。君。と。も。心。定。天下。と。平。治。を。き。器。あり。と。い。ふ。予。の。多
 一。も。は。い。幾。き。小。信。也。予。の。虚。り。實。り。と。知。む。と。ん。小。語。ら。せ。こ。な。と。い。ふ。予。中。心。を
 顔。色。あ。ら。ま。し。て。眼。を。睜。り。声。を。異。お。げ。諸。君。を。汝。の。織。田。家。の。物。并。も。さ。ら。ん。面
 冠。者。を。飲。食。を。と。爾。小。亂。る。尾。小。つ。れ。信。長。と。り。治。世。の。君。と。評。説。し。て。我。意。を



藤吉郎
身七寶く
栗原山
うら
竹中重治
問居ふ
到る



動うさむと思ふとも。大丈夫の決志。大磐石より。擧重し。文。劉備再興
 と。招うとも。此閑居を再び出ん律をかりなき。懐くや。畿國の義の歌あり
 ひと歌國小靡く。た。を。益の言語を。はんり。漢を。ま。この。秀吉。織田
 を。當國の歌と。宣ふ。が。原當主の。人の。領せ。國。お。や。後。家。累。代
 の。守。護。し。ま。信。長。土。波。家。小。遺。恨。の。り。れ。と。只。秋。孫。義。能。ぬ。信。長
 の。岳。又。道。の。入。道。と。執。し。ま。信。長。も。ま。机。を。思。つ。然。る。と。出。し。織。田。と。し。て
 歌。う。と。課。と。ら。あ。び。系。孫。家。の。の。忠。義。を。竭。と。所。不。存。る。の。并。も。孫。真
 ら。と。の。つ。て。家。と。の。お。の。ま。ま。と。出。さ。や。不。道。と。思。し。ま。ふ。や。家。と。の。お。ま。ひ。の。や
 家。と。の。補。佐。し。ま。ん。と。て。此。小。閑。居。を。ま。ま。と。し。て。不。道。と。思。極。み。る。諫。め。く
 君。と。救。ふ。ま。願。詞。も。又。做。主。と。ぬ。民。の。困。窮。も。貯。ま。國。の。滅。も。背。向。小
 見。ま。ふ。ま。孫。家。の。忠。居。ら。む。と。ま。ん。も。然。る。と。ま。が。ん。が。龍。真。心。儲。猫。よ。て。國

入。致。さ。百。姓。離。き。遠。う。ら。ざ。く。天。社。を。崇。り。忠。國。家。と。ま。ふ。大。厦。の。傾。く。一。本。の
 ま。ま。の。所。小。あ。ら。ざ。大。國。の。こ。び。ん。と。ま。い。一。人。の。力。小。身。と。し。て。ま。ん。と。思。ふ。ま。ま。と
 め。え。小。こ。新。山。中。小。孫。家。を。せ。ら。し。世。を。違。へ。ま。ふ。が。ま。ま。も。國。は。し。ん。祖。田。系。代。の
 相。傳。し。ま。あ。ま。近。死。道。と。義。龍。の。好。ま。の。り。く。い。は。ら。む。と。今。身。孫。家。と。共。小
 せん。は。は。孫。名。を。滅。せん。と。既。も。た。ま。が。ら。最。惜。さ。小。憐。の。律。を。願。を。し。ま。ふ。お。思。と
 獨。ま。の。も。呼。賢。け。め。あ。ま。よ。と。听。入。行。中。精。要。時。機。を。し。つ。つ。終。り。し。が。座
 と。る。色。さ。く。冷。笑。ひ。ま。の。實。小。説。家。多。く。様。々。と。ま。小。理。を。つ。け。こ。ご。い。ま。ま。思。ひ
 純。の。事。の。の。辨。言。小。歌。う。とも。鐵。石。心。の。大。丈。夫。何。と。い。い。を。動。う。と。ま。ま。と。思。ふ。大。丈。夫
 真。と。諫。め。とも。孫。家。よ。て。更。不。用。ひ。を。用。ひ。ら。ぬ。と。お。ま。が。ら。諫。め。も。又。思。ひ。ま。ま。と
 孫。家。の。運。極。り。滅。ぶ。時。は。ま。ま。と。此。山。中。小。孫。家。と。ま。ま。と。國。の。お。と。ま。ま。と
 とも。小。ま。ま。の。り。ま。ま。と。ま。ま。と。道。小。背。ひ。て。即。ち。義。を。違。へ。ま。ま。と。人。間。の。盛。衰。ま。ま。と

八計りありて、僅小私の意地と違ふと天下の公路と奔るふは、是れ大丈の不及小
 あらざる智謀武勇も、その人の行ふ事、小徳とこそ。末世の徳徳と賞も、是れも
 あらら英雄のてらしてあらう。天下の民の爲小せを、空しく一箇の小節と守り、末世
 小徳を、後々傳述、果止千方あり、徳も礼も小せき、一乃及ぬま、是れも
 眞実のて天下を補け、諸民と安んじ、四海の聲徳と謀り、はた天意小稱ふの道
 程あり、夫小稱ふ人の道あり、是れが如く、源智大勇、世と救ふ器と持るがら、こそと
 用ひ玉のぬ、夫小賢人の小違ひ。今則小子が、重と親分小過らうと、おなを、はま下
 愈々天理小しく、野も私欲と、更なを、くらくを、願く、はく、分別ありて、詳小を、はま下
 と韻、音陶く、く、傳ハ流沙小橋と流せが如く、古路一兵の浪を、く、理非、自
 演らま、乃、ま、六、竹、中、ハ、胸、と、刺、り、如、く、大、息、継、て、黙、然、と、し、が、稍、あ、り、て、惣、身、よ、り、流
 り、汗、と、推、拭、ひ、胸、此、山、中、小、松、齧、居、て、一、緯、不、存、あ、り、て、の、こ、と、あ、ま、さ、も、是、下、の

の為小親、破せらる。推て答ふる辭なし。道之ハ、秋篠の氏、統ららぬ。と、
 道之小従ふ、緯不義士ありと謂う一言。理小似く、徹底うむ。我の、
 美濃武士都て、道之の指揮と受し、こゝろ、秋篠の血脉、あま、は、あり。是下も
 存ト知らず、如く、義親のこゝろ、土は、頼義、種ある由、あま、と、家督、小、て、ん、爲
 あり。ま、う、と、道之の、器、ま、い、今、く、義親の、謀、い、あら、を、勇士、俵の、せ、事、あ、ま、共
 遂小義親の不意とあり。増や、就真、政事、小、暗、く、諸士の、品格と、徳、傳、歌
 き、ハ、國家、滅亡の、根、え、あ、ま、は、つ、子、房、孔、明、の、ま、と、補、佐、か、。漢、續、國、家、と、語、こ、も、
 いう、ま、う、平、得、げ、ん、や、我、その、滅亡と、見る、に、悲、び、む、此、小、徳、道、一、つ、る、あり。國、家、の、治
 亂、備、環、小、於、く、の、ま、未、が、補、る、所、小、あら、む、悲、し、む、ま、ま、今、ハ、是、秋、篠、之、び、び、影
 小國、主、の、代、き、る、時、新、主、備、よ、く、民、と、慈、む、ま、と、韓、小、あ、ま、し、め、あ、ま、是、又、隱、道
 閑散の、胸、身、小、さ、う、も、悦、あり、と、听、ら、う、本、下、座、と、ま、さ、う、惣、首、と、於、て、貴、師、と、心



秀吉
栗原山の
閑居
竹中
重治と
説



家小仕官せし小園とその恩愛を小初るよし。とけては信長仁義厚く。心之
夫中を治まき。君と小初りて。是小信と云人の威風をひとくひ得ん。
と至水小誘きて。例殺小到る。小初孫言小討面。違事と被ぶる。如
秀吉厚に款待して。平時清例小傳了。信長もく會まらる。いふ事
小や。咄せの害を言ふ。方初る。本下も。意を探知。我を分枝て。今日まで。
東西小終ら。延く。然ども。夫も。身と。疑心と。納る。口惜。小末世の
噓と。受ま。と。腹切らん。と。ま。ま。秀吉も。こも。小切腹。さん。せ。忠義。乃。武士
小腹。さん。空。換。せん。も。不。便。あり。い。せん。と。工。更。の。うち。思。ひ。つ。れ。貴。師。が。律。
信長。常。小。竹。中。の。海。内。を。双。の。女。子。あり。と。て。態。を。ま。る。律。久。と。園。子。是。小。園。に
る。所。を。初。め。く。將。佐。小。を。ま。ら。せ。信。長。の。謁。見。小。入。る。小。自。身。小。受。る。款。也。も
晴。且。本。下。が。武。道。も。達。ん。と。只。管。此。儀。を。特。ま。ん。と。所。得。く。泰。上。い。と。を。一。あり。今

更。美。あ。る。小。の。あ。ら。ざ。き。も。龍。興。ぬ。一。道。小。く。不。義。殘。忍。の。事。の。ま。ま。は
決。て。も。天。龍。道。と。う。ら。む。今。園。子。の。朝。宗。の。偏。小。清。洲。の。織。田。小。あ。る。を。織。田
信。長。が。改。道。の。い。づ。小。面。も。寛。仁。に。ま。き。誰。の。こ。も。と。思。ふ。と。七。國。の。新。小
小。室。死。せん。有。道。の。風。小。小。麻。呂。ん。と。も。能。く。や。款。惑。の。罪。あ。る。と。一。身。を
安。小。室。か。一。庶。幾。の。咄。あ。小。東。東。親。友。の。好。と。あ。り。一。遭。織。田。家。小。會。一
至。り。大。澤。の。家。名。自。身。の。安。徳。助。命。の。恩。義。忘。ま。と。と。い。ふ。小。竹。中。常。宗。と。矢
ひ。こ。も。本。下。が。前。策。あ。る。一。再。意。足。下。を。遣。り。て。咄。と。解。と。も。欺。ま。ん。や。兩。居
一。て。后。も。や。脱。小。ら。夫。の。道。を。棄。て。ま。い。今。更。何。と。を。織。田。家。小。仕。へ。ん。弱。さ。と
背。て。強。き。小。面。廢。る。と。ま。て。與。る。小。末。ふ。輕。薄。の。徒。と。ま。ら。ざ。是。下。の。情。も。の
さ。る。こ。と。あ。ら。我。心。中。に。已。小。決。せ。り。秀。吉。許。為。小。得。を。棄。て。遊。説。一。ま。不。得。た。れ。
と。い。ふ。と。大。澤。か。返。り。て。吾。く。足。下。信。長。小。降。参。せ。と。い。ふ。小。の。あ。ら。と。は。目。入。る。あ

一玉といふのさう一遭織田家小謁玉も這大澤と本中が命を奪
 ちつのもあらざ。濃尾の百姓が幸福あつて。信重さへ次舟たきつ命を惜
 しみとあがきつらまご今くひつて然ふあらざ。我本心の初る事。亂軍中ふ
 藤家の氏族悉く戦死せし。譜代の名実ももまらぬ。新せん事と歌けりあり。
 臣の身とて新苦患と。さうあらざとわしむと。此がたえ小這大澤と并て
 命を保ち。小彼らも。頼心と散れ。織田の幕下小属も。なげ。藤家滅亡
 の朝小藤を奇計せぬ。らし。血縁を。お續させんと計を。あつ。然が。女
 家小叛く小似。邦て。藤家の。傲忠も。彼等の。理と。勅命とて。
 是下と。初めり。ふ。所。寄。あ。死。心得。と。し。と。解。を。そ。了。得。の。竹。中。も。必。心。
 是。小。心。中。惑。ひ。移。縁。あ。つ。る。形。相。と。そ。ぞ。と。大。海。理。と。謁。して。頼。小。解。後。
 ち。と。小。う。行。中。心。魂。醉。る。が。如。く。稍。あ。つ。て。重。を。さ。す。是。下。明。友。の。好。ど。り。

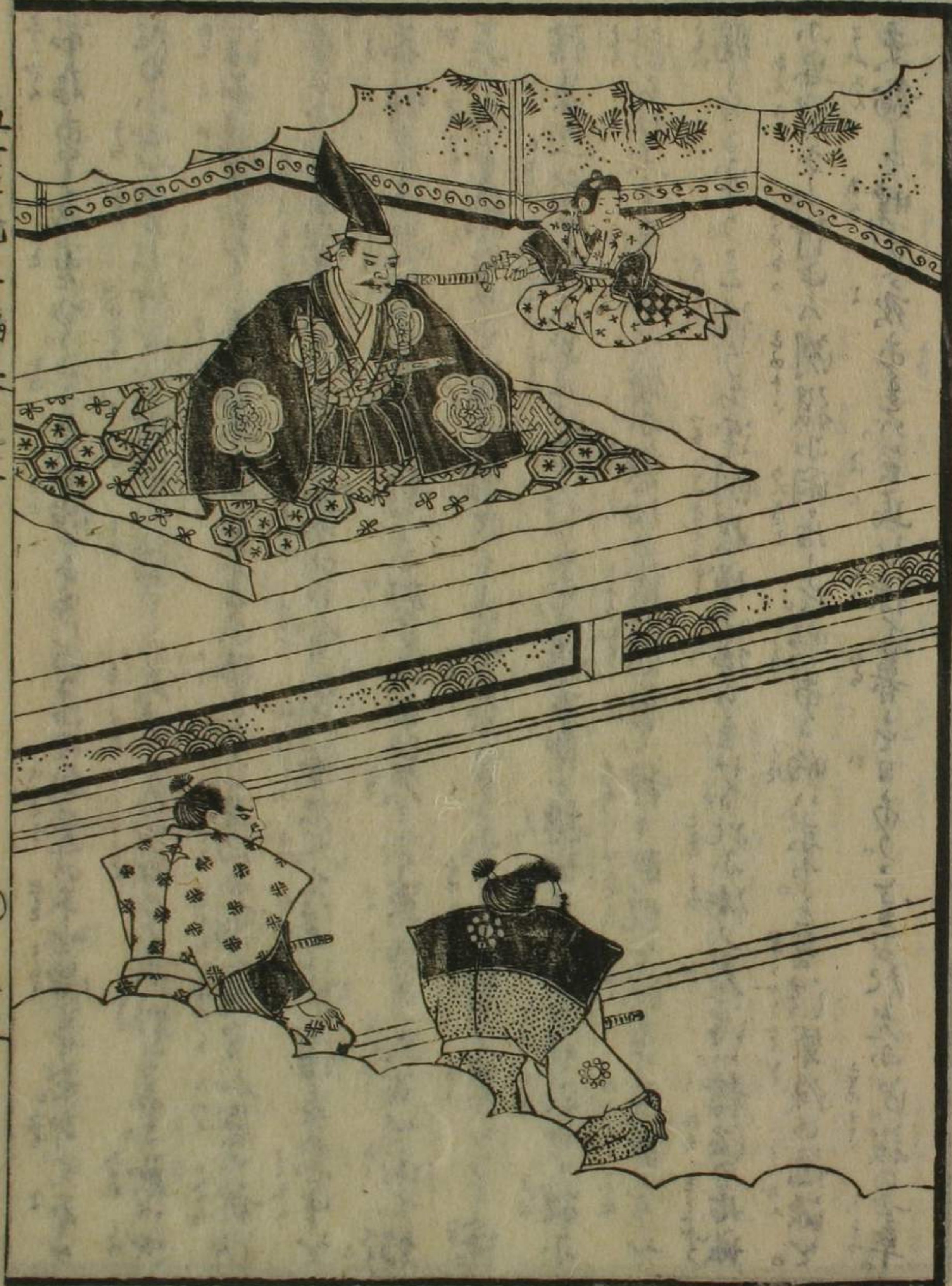
唯と勅説く玉ふ。わが。道。至。ま。う。只。我。和。と。さ。る。処。ハ。縁。ハ。實。う。義。小
 宵。く。諒。あり。と。謂。う。詞。の。を。朽。滅。さ。ふ。西。京。の。困。居。と。出。下。と。推。言。し。て。智
 う。取。の。小。藤。家。血。縁。存。亡。の。事。小。謁。し。竹。中。も。指。杖。あ。ま。織。田。家。小
 謁。系。中。も。み。ら。れ。只。信。長。小。謁。目。の。さ。し。て。是。下。の。幸。福。と。あ。つ。し。ま。う。と。秋
 着。ま。さ。小。滅。び。ん。ま。る。响。ま。う。子。孫。と。り。て。其。家。の。血。縁。お。續。の。物。あ。ら。ざ。意
 地。と。并。て。交。わ。向。と。へ。是。下。も。然。本。中。と。終。つ。と。あ。と。重。を。さ。す。う。次。舟。た
 き。つ。命。を。奪。ち。つ。ら。ま。ご。今。く。ひ。つ。て。然。ふ。あら。ざ。我。本。心。の。初。る。事。亂。軍。中。ふ
 藤。家。の。氏。族。悉。く。戦。死。せ。し。譜。代。の。名。実。も。も。ま。ら。ぬ。新。せん。事。と。歌。け。り。あ。り。
 臣。の。身。と。て。新。苦。患。と。さ。う。あら。ざ。と。わ。し。む。と。此。が。た。え。小。這。大。澤。と。并。て
 命。を。保。ち。小。彼。ら。も。頼。心。と。散。れ。織。田。の。幕。下。小。属。も。な。げ。藤。家。滅。亡
 の。朝。小。藤。を。奇。計。せ。ぬ。らし。血。縁。を。お。續。させ。んと。計。を。あ。つ。然。が。女
 家。小。叛。く。小。似。邦。て。藤。家。の。傲。忠。も。彼。等。の。理。と。勅。命。と。て。
 是。下。と。初。め。り。ふ。所。寄。あ。死。心得。と。し。と。解。を。そ。了。得。の。竹。中。も。必。心。
 是。小。心。中。惑。ひ。移。縁。あ。つ。る。形。相。と。そ。ぞ。と。大。海。理。と。謁。して。頼。小。解。後。
 ち。と。小。う。行。中。心。魂。醉。る。が。如。く。稍。あ。つ。て。重。を。さ。す。是。下。明。友。の。好。ど。り。

織田家小謁玉も這大澤と本中が命を奪
 ちつのもあらざ。濃尾の百姓が幸福あつて。信重さへ次舟たきつ命を惜
 しみとあがきつらまご今くひつて然ふあらざ。我本心の初る事。亂軍中ふ
 藤家の氏族悉く戦死せし。譜代の名実ももまらぬ。新せん事と歌けりあり。
 臣の身とて新苦患と。さうあらざとわしむと。此がたえ小這大澤と并て
 命を保ち。小彼らも。頼心と散れ。織田の幕下小属も。なげ。藤家滅亡
 の朝小藤を奇計せぬ。らし。血縁を。お續させんと計を。あつ。然が。女
 家小叛く小似。邦て。藤家の。傲忠も。彼等の。理と。勅命とて。
 是下と。初めり。ふ。所。寄。あ。死。心得。と。し。と。解。を。そ。了。得。の。竹。中。も。必。心。
 是。小。心。中。惑。ひ。移。縁。あ。つ。る。形。相。と。そ。ぞ。と。大。海。理。と。謁。して。頼。小。解。後。
 ち。と。小。う。行。中。心。魂。醉。る。が。如。く。稍。あ。つ。て。重。を。さ。す。是。下。明。友。の。好。ど。り。

洞徹固くやいども鑢くあまを新若石空平といども斬るこまに判
 違事都て作ごうらど木せめて竹を解る事ハ豈敢て成ゆらうや
 然ども竹の本小勝を是天竺の理あるもの歎斯るまは竹中守義
 尉重治ハ本中が智舌小解る者らに別殺小来りなまは秀吉の歎ひ恨り
 ろく。その致勝言を把るにのみ。急ぎ法別ハ使者と遣し大澤次舟丸
 が計畧りて竹中守義重治と違小自方ハ帰次をさしめ別殺城
 へ振ぎ寄てをも器を頼々採り誠小園ハ小違ハぬ身代の軍隊小を假
 沖中船次舟丸相伴ひ。ふんごきよしと意味せし。信長斜からせ收び
 まひ。竹中が將佐小属とる律。近來本望の至りなり。急ぎ石付集へし。
 登り對面しさん小。と命を奉て使者も返り。若命の如く木下小吉と
 竹中より早く。竹中本取と告知らせ。大澤重時とも同道なり。うち相伴て法

別小至り。秀吉せりて案内を。信長對面の威儀を具置し。竹中せり
 る小。秀吉先達と沖前小進も護て之を待たせり。最前大澤次舟丸
 若小澤謁沖免の機舎より沖意小傳をせ玉すぬ義小や切腹命せつけ
 らせり。然ども大澤小切腹させ玉す。此後勇濃武士誰あつて。沖意小傳
 づま。すま小園ハ沖意小傳私小討らひりふせ。律。忍入ての儀ハども。若石の
 為小功を達るハ沖免を慕ふ事なり。と次舟丸意不初めり。竹中せりて
 閑居をせ玉す。伴ひ来りて催あり。竹中半々備。沖自軍ハ如さう催こを
 大澤が功なきハ。万望沖外を沖免あり。沖意小傳ハおめさうや。偏小頼ひ
 奉ると。血をせ玉す。織田殿さしめ。尚も彼他と拍せ玉ひ。得ハ木下
 予心中を探知て大澤を用ひ。使召出せと命あり。次舟丸意不初と知を
 沖謁小進をせり。信長沖面和らば玉ひ先達と切腹のやつけ。い平が

大澤竹中



大澤竹中

説服

信長小

謁せむ



不存ありての事あり。其意を悟りてしる。小や紀道の平を恨みせむ。亦て平が
 ため小心と骨。行中を將佐小招ぎ。天晴の大功感む。小利あり。無バ此
 後兵濃小わぬ。本領安途り。小賢を立功小随く。此中加恩の計ひ
 ある。心忠節あり。懇切の令小大澤。忍入て。信長の心中を
 益時の。懐頃り。此小行中小對をせむ。久く軍師の英名を聞て。好
 意懇切の心や。信く意々として。今天おゆる。小を御熱し。果あらう。信
 信長が一語の悦又此上のある。信吉舟が。額を責不足を助けて。能小
 討らひ玉。是よりして。殊小懇切の御會應あり。種々賄賂を配きて。後辭命を
 賜りける。この個うち。連別股城小啼らさける。此小侍て。大海の指派の居城
 小安堵さ。行中の別股小兩居と。暇ある。响の。小中。と。是は。軍後の。源流と
 更論と。曉と。夜も。馬を。使て。暮を。日あり。こそ。が。た。先小別股の。主。

悦を日來小十倍。雲を得る。龍の像。風小集むる。虎小似たり。加之百姓
 と。控。城。中。主。卒。の。行。出。り。とも。一。懸。軍。指。私。を。報。の。御。役。意。法
 随小あり。あて。耕。作。と。面。を。り。る。小。より。近。海。を。村。の。農。民。們。父。母。妻。子
 と。引。具。て。別。股。領。へ。移。り。る。小。ぞ。今。の。御。ご。中。と。と。米。粟。表。豆。芋。人。の
 荒。る。田。面。も。あ。ら。ま。ま。が。次。小。別。股。の。城。下。解。軍。して。軍。本。も。靡。く。た。り。

あり。と。米。貢。す。減。て。民。と。地。額。と。意。と。小。力。と。同。じ。なる。や。ど。小。事。あり。

秋。の。孫。家。の。奇。政。と。流。る。仁。政。の。君。と。得。ん。安。樂。と。待。て。來。る。ま。は。別。股。領。は
 豊。氏。高。家。朝。々。小。員。と。擡。る。由。へ。之。糧。軍。用。今。今。山。の。如。く。小。種。さ。る。

こ。ま。と。勤。美。さ。る。に。こ。方。五。六。千。石。小。を。び。り。と。鳴。呼。賢。る。る。ち。智。あ。る。れ。

本。の。下。秀。吉。他。衆。の。企。望。一。時。小。閑。け。て。今。此。小。一。城。の。事。と。あり。新。ま。て。不。成。と
 ころ。ひ。ら。げ。金。仁。政。と。施。り。る。に。後。小。隠。列。十。八。郡。も。六。郡。

しる木下の領ありしとぞ

秀吉呼連申村母公親族一属招之人衆

大事^{だいじ}なる獨^{ひとり}計^{けい}らふことなき心^{こころ}得^えらん人^{ひと}小^こ同^{どう}しとる最^{さい}明^{めい}寺^{てら}殿^{でん}の借^か由^{よし}とる也^{なり}
 今^{いま}木^き下^か行^ゆ申^{まを}せり。所^{ところ}の如^{ごと}く小^こ等^ら教^しむる律^{りつ}。是^{こゝろ}此^{こゝろ}歌^{うた}の心^{こころ}をある。勢^{いきほ}ま心^{こころ}を
 用^{もち}ひてまば歌^{うた}國^{くに}ふして歌^{うた}々々らむ。既^{すで}小^こ守^{まも}り平^{へい}治^ぢありて。民^{たみ}の飲^のび法^{はふ}々らむ。其^{その}美^み事^{こと}
 このまゝ事^{こと}ふして。水^{みづ}祿^{ろく}五年^{ごねん}全^{ぜん}く暮^{くれ}。六年^{ごねん}の春^{はる}とらむ。ぬ。思^{おも}ふ小^こ木^き下^か者^{もの}吉^{きち}守^{しゅ}
 へ素^す行^ゆむも多^{おほ}く。西^{にし}之^の濃^ののこ人^{ひと}荒^あと將^{しょう}佐^さ小^こ属^{りく}々。種^{しゆ}々^{しゆ}と巡^{めぐ}らしむる。地^ち
 の理^り人の和^わ小^こ如^{ごと}くまば。濃^の列^{りつ}の百^{ひゃく}姓^{せい}們^らの仁^に惠^ゐを施^せしける。どに昔^{むかし}き
 政^{せい}事^じ小^こ治^ぢ一^{いつ}蒼^{そう}生^{せい}食^{じき}木^き下^かの德^{とく}化^かを莫^もの宛^{えん}水^{すい}の東^{とう}流^{りゅう}して海^{うみ}小^こ帰^{かへ}する。小^こ
 ことあらむ。歌^{うた}國^{くに}ふしてその民^{たみ}の父^{ちち}母^{はは}を莫^もの宛^{えん}水^{すい}の東^{とう}流^{りゅう}して海^{うみ}小^こ帰^{かへ}する。小^こ
 あらむ。遠^{とほ}响^{ひび}木^き下^か孫^{まご}吉^{きち}守^{しゅ}。無^なく懐^{なつか}ひやらむ。响^{ひび}申^{まを}村^{むら}の故^こ々^々とむ。

本意^{ほんい}又^{また}録^{ろく}は
 のまの心^{こころ}は
 二^に事^じの心^{こころ}は
 本^{ほん}意^い又^{また}録^{ろく}は

諸^{しよ}下^かと遍^{へん}應^{おう}ありし。偶^{いふ}仕^し官^{くわん}の才^{さい}と成^{なり}て父^{ちち}母^{はは}と國^{くに}と同^{どう}し。志^しをから奉^{ほう}ふと
 りて大事^{だいじ}なる。父^{ちち}母^{はは}と訪^{たづ}ねね。今^{いま}日^ひまを等^ら用^{もち}する。律^{りつ}不^ふ孝^{こう}ふありぬ。是^{こゝろ}も是^{こゝろ}も君^{きみ}の忠^{ちゆう}義^ぎなり。是^{こゝろ}も忠^{ちゆう}孝^{こう}へ全^{ぜん}くし。然^{しか}るに响^{ひび}今^{いま}計^{けい}らむ。是^{こゝろ}も
 洲^す邊^{へん}一^{いつ}城^{じやう}のまじり。六^{ろく}郡^{ぐん}の民^{たみ}の貞^{せい}を受^うせも稍^{しやう}安^あく思^{おも}はる。小^こ生^{せい}をまむ。母^{はは}
 公^{こう}と親^{せんと}親^{せんと}族^{しやく}の軍^{ぐん}と迎^{むか}へて。孝^{こう}養^{やう}の務^む力^{りき}を盡^{じん}さふ。と。海^{うみ}野^の彌^や會^え法^{はふ}を使^{もち}ひ
 とす。尾^び列^{りつ}申^{まを}村^{むら}遣^{つち}を。浅^あ新^{しん}の意^いを申^{まを}村^{むら}不^ふ越^こき。木^き下^かの心^{こころ}不^ふ別^{べつ}。と。母^{はは}
 母^{はは}公^{こう}不^ふ對^{たい}面^{めん}。次^{つぎ}小^こ親^{せんと}一人^{ひとり}と。殘^{のこ}らる。集^ある。洲^す邊^{へん}許^こへ。所^{ところ}載^{ざい}あり。と。母^{はは}
 皆^{みな}治^ぢ次^じの難^{なん}費^ひの價^げ額^{がく}と。金^{かね}銀^{ぎん}多^{おほ}く。と。遍^{へん}ふ。その。海^{うみ}野^の彌^や會^え法^{はふ}を使^{もち}ひ
 申^{まを}村^{むら}より洲^す邊^{へん}まで七^{しち}里^り余^よ程^{ぢやう}の釋^{しやく}々^々。小^こ休^{しゆ}息^{いき}を。と。申^{まを}村^{むら}不^ふ別^{べつ}。と。母^{はは}
 多く。賄^{もち}ひり。申^{まを}村^{むら}不^ふ越^こき。居^ゐる。孫^{まご}吉^{きち}守^{しゅ}が母^{はは}公^{こう}の心^{こころ}を。小^こ別^{べつ}。と。母^{はは}
 事^{こと}。孫^{まご}清^{せい}息^{いき}の國^{くに}々^々。其^{その}後^{のち}教^{しやく}目^めへ。律^{りつ}も。我^{われ}子^この心^{こころ}を。事^{こと}。

昨日も今日も近國の小唯軍のありとの風園りや物支小的死ハせぬ戦死
 ひとしく死もやせんと向く瞬たる陸もいそを忘る律のあつべき懐悩して居
 らま一市斯る便宜と祈りまはるに驚入んをなく師助の事（この事）の辨かりて
 物として小市から妹の朝日。源河五市助をせうち採る。洲根の城小根と本
 了。設の郎小根さきりる時。小下出て對面を。疏縁のこともせ詳結之居
 有敵國の比城せ守護する身小准。容易出て逃ぐ。居をくら待。志りふ
 せ。一条君小仕る身の勤也。任てゆるさせま。と。最懇切小演。遠時
 淺野依委走。と。山小市。孫果の種。海。尋る音相の品。心の及。陽りせ
 款待。及。浦の孝小當。中村の賊。居小ひ。怒り。不。見。小。母公の悦び
 親族の面目。う。ぞ。見。入。る。左。右。小。日。も。暮。る。か。秀。吉。親。小。以
 族小對。新。津。途。ま。わ。ら。さ。う。ハ。久。く。遠。城。中。小。を。た。て。ま。つ。り。船。目。述。ふ

△此城助ハ
 兄ト也上
 水の家ハ
 三ノ下
 三ノ下
 三ノ下

事。く。候。より。願。ふ。事。も。遠。城。全。く。秀。吉。が。安。途。の。住。居。小。准。ら。る。を。法
 列の地せ取づき。是助小准。城。を。六。時。と。一。の。敵。進。来。り。合。戦。を。挑。む。事。も
 あま。一。日。に。時。も。安。穩。ら。る。と。又。小。准。の。尾。列。有。る。法。洲。城。内。の。小。子。が。郎。小。中
 安。途。存。在。今。より。彼。而。小。福。一。番。を。沖。安。途。の。義。と。計。ら。る。師。助。小。一。部。の
 兩人。遠。城。中。小。留。光。是。時。小。意。と。用。ひ。と。と。姉。妹。小。母。公。と。技。助。を。余
 の。親。族。と。も。懸。く。法。洲。城。中。へ。送。り。遣。し。再。び。淺。野。を。使。と。し。遠。事。を。告。げ。言。状
 一。ナ。ま。は。織。田。殿。も。秀。吉。が。孝。心。の。程。と。感。と。玉。ひ。母。と。居。ま。す。時。々。の。夜。復。相。談。と
 贈。賜。了。母。が。心。と。慰。め。と。あ。ま。目。本。下。母。姉。妹。の。紐。と。煙。人。藤。井。の。母。小。對。面。し。る。心。情
 いと。頼。染。相。貌。さ。美。く。な。ま。は。近。小。孝。慈。淺。く。ら。と。和。合。し。て。居。緒。と。送。り。ら。る。又
 洲。根。小。本。下。小。市。部。の。秀。吉。申。村。彌。助。秀。吉。の。兩。士。と。得。の。ぐ。き。も。竹。中。と。際
 と。ま。り。の。法。と。學。を。せ。る。程。小。卷。用。小。と。違。し。な。ま。は。御。目。小。上。達。し。ら。

豊臣巴二編



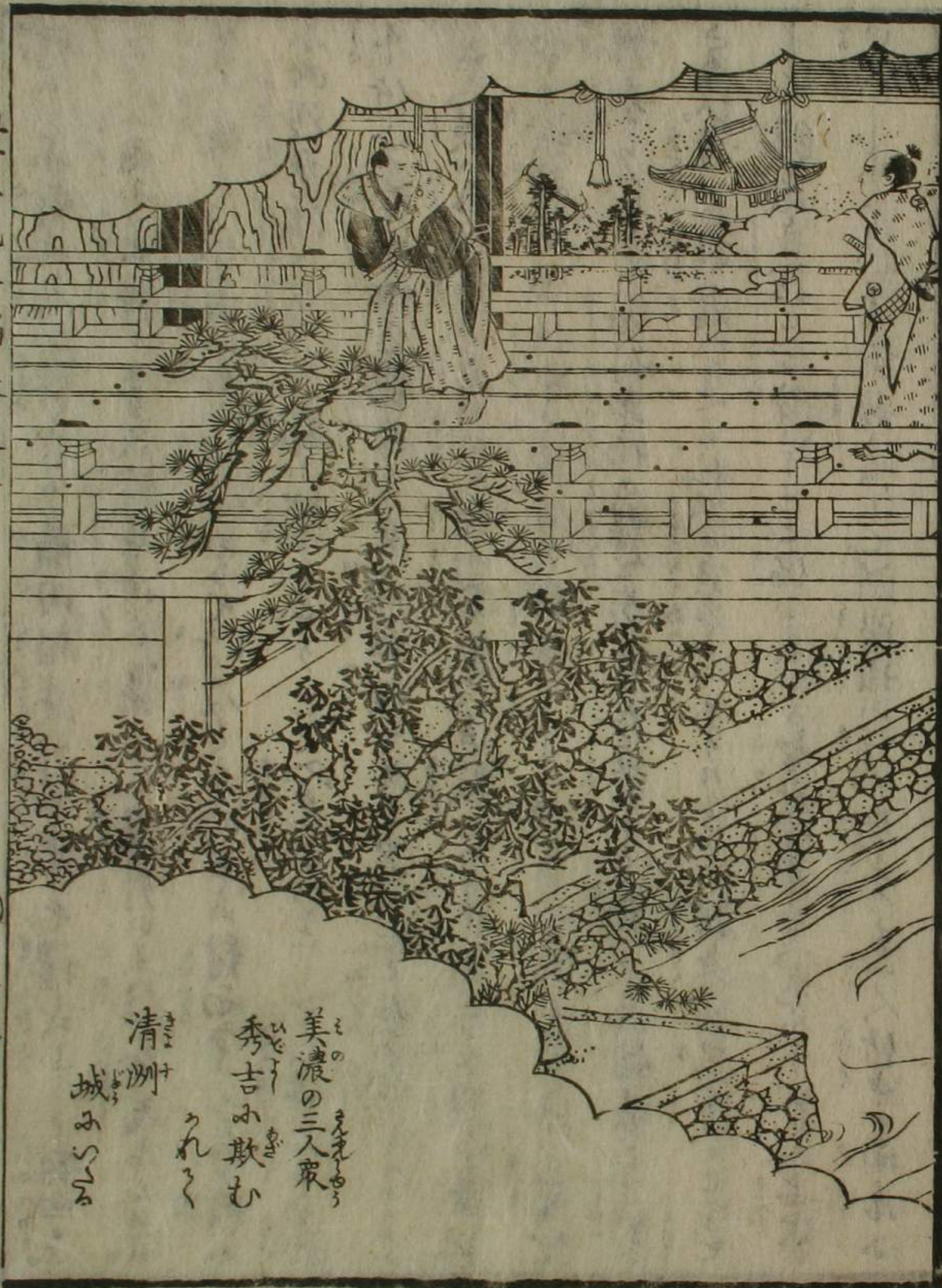
豊臣巴二編

又後治五帝助が子虎之助比歳二歳ふきども。又抜く力別く。四五歳量ふき一け
まば。こま九人小ハおらふ。他素小ハ胸腹心とらんと。清洲の城内へひれ把らむ。
あつ。養育言ふませり。虎之助ハ永禄五年壬戌。六月廿四日丁丑日誕生。借も春過秋去て。二年の冬も来り。乃が
木下頼久西へ濃の三人衆と群ま。積業伊豫守。安藤伊賀守。氏家常陸父
と將佐小せんと。必常より。又と。口ら。行中と。二人元と。素より。熱態ある。俾
と。知り。或日重治が。園房小別。と。遠事と。積業。と。重治。笑ふ。前ふ。こま。ころ。ハ
乃。夫。此。地。小。ま。う。在。ハ。止。事。と。得。ざる。深。義。ある。ま。も。他人。の。い。う。る。不。成。也。此。味。の
人情。計。り。と。し。こ。人。の。不。成。ある。や。只。下。の。頼。久。熱。練。一。去。不。智。計。と。り。て
招。か。ま。ふ。一。人。集。り。て。伏。し。あ。げ。二。人。の。う。ら。ら。む。と。同心。と。し。謀。計。ハ。都。て。備。り。備。せ。り。て
城。と。泊。こ。そ。軍。中。の。智。と。い。ふ。は。ま。は。只。下。の。智。と。招。か。ん。小。集。ら。む。と。い。ふ。俾。ある。ば。ら
ど。を。我。指。揮。不。及。ん。や。と。招。ぐ。ま。き。方。便。と。更。小。言。ふ。ま。も。木。下。の。得。の。智。者。を。ま。ふ。

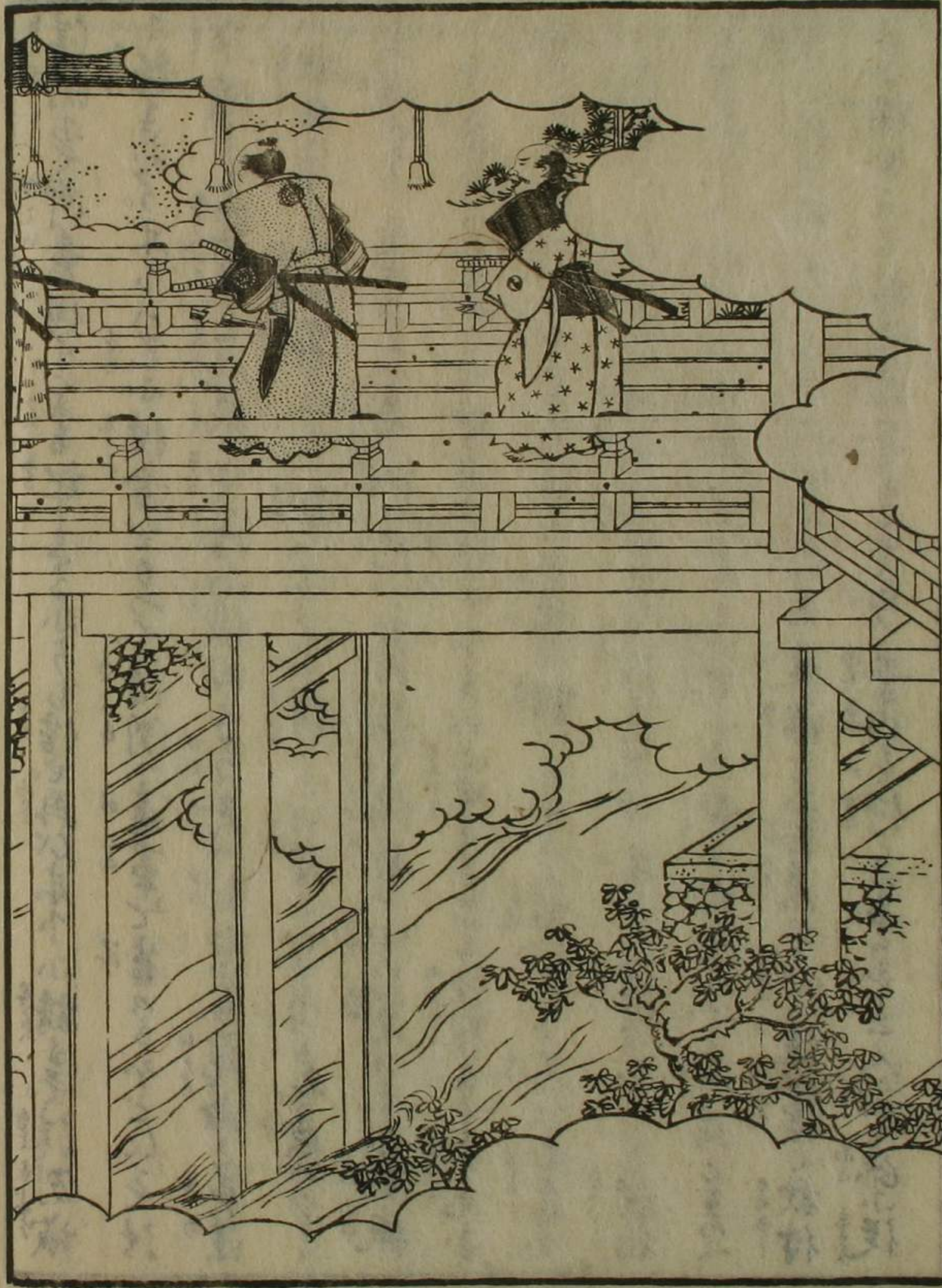
忽小その心せし謀再び行中と謀業を右筆の者を呼出。行中重治が。小
ぬせ。て。寫。さ。せ。る。書。簡。の。條。ハ。重。治。別。後。小。後。子。任。の。身。と。安。藤。小。過。ん。が。こ。れ。あ。り。今
當。國。の。風。と。採。る。に。安。藤。家。の。滅。亡。遠。く。ら。む。方。々。小。ハ。清。心。在。あ。る。ま。も。と。此。意。の
合。戦。小。國。と。亂。く。民。と。若。く。あ。る。や。の。清。計。を。肝。要。と。し。借。又。及。遠。と。斬。り。て。
平。治。を。と。り。大。將。軍。ハ。上。總。及。小。う。び。る。べ。實。小。織。田。の。軍。軌。尋。常。あ。ら。む。方。々。小。ハ
よく。所。乃。及。む。ま。ん。が。又。畷。小。見。惟。と。一。層。雄。々。一。次。大。將。あり。あ。ま。も。情。小。別。股。あり。
乃。更。が。園。居。へ。清。越。あ。ま。し。木。下。が。軍。配。を。と。清。賢。あり。ひ。乃。更。が。朝。の。ま。も。借
も。知。ま。ん。など。密。や。う。小。ま。と。め。さ。せ。一。通。づ。の。書。簡。せ。り。こ。人。の。使。者。小。こ。ま。と。書。簡
らせ。借。も。安。藤。氏。の。こ。ま。家。へ。志。の。び。や。小。遣。し。借。こ。人。元。の。俾。小。お。め。く。手。速
書。簡。と。用。現。て。行。中。が。申。強。り。し。朝。を。理。あ。ら。む。小。り。列。事。も。あ。り。頼。久。こ。ま。家。に
人。も。小。集。り。を。謀。し。機。會。を。小。集。り。ま。も。國。中。奉。て。智。者。と。呼。ま。し。重

治が初る事と心を決し。三人一不不密密會會あり。通通小小行行中中書書心心をせり出出に
 漢漢合合とて全全下下文章文章筆筆法法もまじしく重重治治が自自筆筆小小柳柳相相違違ありれば
 一寸一寸疑疑がらも一人一奇奇測測後後城城小小素素小小なる也。本本中中最最希希より待待設設け圖圖を
 開開て送送請請を。之之家家心心小小説説とるが。些些も屋屋さる。筆筆色色も。淺淺野野が案案也也小
 伴伴らまて客客堂堂小小進進投投を本本中中三三つら出出送送へ懸懸勲勲小小禮禮を布布し。乃乃不不當當
 城城を受受守守孫孫吉吉并并とりふと者者あり。之人之人衆衆の功功名名はくぐ関関かよひて外
 事事あがら。集集てし。存存下下不不當當。重重治治通通信信りふまで。今今日日當當城城へ入入來來の途
 乃乃不不當當。重重治治是是せり。復復く行行中中先先生生小小出出のやどを待待待待らま。乃乃不不當當や
 今今朝朝清清測測より急急の呼呼よのぞし難難一通一通の書書を殘殘さきて投投清清測測城城へ
 一一封封の書書を投投し。乃乃不不當當封封か一切
 て是是を觀觀るに當當城城まで清清裁裁あるよ。本本中中と共共小小清清測測へ越越まよ。法法事

清清測測が清清意意得得し。書書記記する。小小行行中中信信を再再び本本中中小小説説を。清清測測城城
 小小説説きたり。本本中中へ已已不不使使者者とりて。清清測測へ通通事事を告告るや。に。そ。能
 準備準備して送送當當。之人之人衆衆の心心内内小小織織田田と弓弓矢矢の引引ねども。尾尾張張と。重重治治
 八八敵敵國國あり。酒酒家家之人之人の敵敵小小も。謀謀く。之之者者と。か。ひ。ふ。ま。と。然然ひ。あ。く
 武武備備の。之之。先先も。ま。を。居居城城の内内へ。包包死死投投し。信信長長が。心心の。實實さ。よ。と。感感佩佩
 一一つ。來來な。が。ら。も。有有係係敵敵國國の。城城中中あり。心心中中を。こ。じ。も。油油影影あり。本本丸丸小
 登登ら。ま。り。る。が。行行中中更更小小出出達達と。ぞ。殊殊小小説説く。も。ふ。ふ。前前へ。本本中中再再び。出出來來り。
 重重治治之人之人の。心心内内の。清清出出の。送送ま。と。待待ら。び。て。中中途途で。達達の。ふ。き。ん。と。例例役
 一一歸歸ら。ま。り。る。が。彼彼此此の。難難點點を。ま。の。と。く。千千万万。い。く。計計ら。ん。づ。れ。や。と。呪呪罵罵と。ま。り。
 紫紫田田依依久久間間不不破破森森池池田田の。老老居居達達。移移く。小小出出來來り。後後儀儀を。深深く。款款待待
 する。機機會會より。林林依依渡渡守守ま。を。出出て。案案内内を。何何と。あ。ら。と。之之人人元元も。跡跡小小從



美濃の三人衆
秀吉の欺む
清洲城



行ふと小対面應小伴より。織田殿嚴小は書来して。禮式正しく對面を
 之人一同小若座し。信長津声舞しく。濃別の土波亦有あらむ。
 是下依三人の右小出る族と多々。所及を。以てその對面をさくもの形に
 小此程重治が面せし。朝小隨もさうこそ入来あらまし。此以上の平治
 下。竹中大津依と詔合て。其法靜置せし。玉下と懇の人をさすより。
 之人衆の再び情さ。且つ惻いふべき親も多し。一齊小頭を擡げ。
 令せ謝頭了。候竹中大津依と評後の上より。時節を見あせ。亦出馬と
 請奉らんに。濃別平治の謀とぬらさんと共中々答へらむ。信長亦其
 ころひ。種々の聘請ひせられ。答を容よくありらむ。障糸のたもさここと
 して。濃尾自他と合陣中。こと。偏小本下が智計あり。之人氣もさく。小安達
 思ひ。本下法も謝辞あり。例股城小降り。馬秀吉一人竹中が岡居小

列に。之人氣と執計あり。始終詳小語りけむ。竹中も解さる。色も。及簡と
 む。歌と計あり。こは戦國の常あり。唯を。是を恨むべき。こは。本下が面會
 して。是下の術を幫助せし。使伴もさく。ゆゑ小飲ひ。安達移也。氏家を誘ひ。
 竹中が詳小至り。之人等。對面して。遠達の中を。謂出らむ。小重治所て。ち美
 响當城へ移し。こと。全々氏と安穩小。かさん。この本意あり。厥も。り。刻
 題語。何うか。さうさ。更小他の事を。信らぬ。こ人衆も。本下の謀。こハ
 心づき。誠小重治の誘引あり。とおひ。と。画。小居城。こその。帰られ

繪本豊臣勲功記二編卷之三 終

